



自社概要や商品説明を行うピッチングを何度も行った。

宇宙輸送事業の創出に向けた 事業開発体制の強化

Letara株式会社は、北海道大学発の宇宙スタートアップとして、小型衛星の打上げや宇宙輸送の高度化を目指した推進技術の研究開発に取り組んでいる。同社が開発するハイブリッド化学推進技術は、固体燃料と液体酸化剤を組み合わせ、安全性と推進性能を両立する新しいロケット推進方式であり、従来の固体・液体ロケットの利点を併せ持つ技術として注目されている。

近年、小型衛星の需要拡大や宇宙ビジネスの成長を背景に、低コストで柔軟な宇宙輸送サービスの重要性が高まっている。宇宙産業は、技術開発だけでなく顧客ニーズの把握や市場開拓、国際的な関係性構築など、事業開発の視点が不可欠な分野でもある。同社では2026年6月に小型推進機「システムI」の軌道実証を予定しており、技術の実用化と事業化フェーズへの移行を見据えた取り組みが求められていた。そこで、高度ハイブリッド化学推進技術の研究開発を進めるとともに、本事業において、宇宙輸送事業の創出に向けた事業開発体制の強化に取り組んだ。

国際プログラムを通じた ビジネススキルの向上と欧州市場ネットワークの構築

本事業では、宇宙産業における事業開発力の強化を目的として、JETROが実施する宇宙分野に特化したプログラム「J-StarX SpaceTech」への参加を通じた人材育成を進めた。同プログラムは、欧州の宇宙産業エコシステムの理解と、現地企業や宇宙機関、投資家とのネットワーク構築を目指す国際的な成長支援プログラムである。

プログラムでは、東京でのブートキャンプやオンラインメンタリングを通じて海外市場への参入戦略を検討するとともに、英国やフランスの宇宙関連企業・研究機関の訪問やビジネスマッチングを実施した。現地の宇宙機関や企業との交流を通じて、欧州の宇宙産業エコシステムや市場動向への理解を深め、今後の国際展開に向けた関係構築を進めた。

こうした取り組みに手応えを感じ、同社では顧客ニーズを踏まえた事業戦略の検討や海外市場を視野に入れたビジネスモデルの構築が進んでいる。今後は推進技術の実証と事業開発の加速、宇宙輸送サービスの実用化を目指すとともに、日本発の宇宙スタートアップとして国際市場での存在感を高めていく。



英の宇宙関連技術コミュニティSpace Park Leicesterを視察。



仏でのネットワーキングディナーの様子。



燃料を手にする、本プログラム参加者のChris Yuenさん。

responsible party

欧州で確かな 手応えを得る契機に

このような機会をいただけたことに感謝しています。会社紹介や商品説明などプレゼンテーションのスキルが格段に向上しました。



Business Development Associate
駒コリアナ

宇宙のどんなところへも24時間以内に | 人工衛星等に搭載するエンジン、ロケットエンジン、OTV推進システムの開発と提供を実施。

Letara株式会社

札幌市西区発寒9条10丁目2-10 TEL 011-688-5670

設立:令和2年 正社員46名 契約社員23名 パートタイム19名(2026年2月末現在)

代表者:共同代表 ランドン・ケンプス、平井 翔大

URL <https://www.letaranext.com/ja-jp>

